

# 農業委員会だより

E-mail/nougyou@city.ohawara.tochigi.jp



## チームあゆみ × 東洋大学経営学部蜂巣ゼミ 「Instagramを活用した農業経営スキルアップ講座」開催

市内の農業者20名にご参加いただきました。参加者からは「インスタの新しい使い方を知れてよかった。映える写真で発信していきます。」「Instagramの使い方だけでなく、周りの農家さんたちとの交流があり、とても有意義な時間になった。」との声をいただきました。

### 主な内容

- 令和5年度農地等利用最適化推進施策の意見書及び回答.....2
- (特集)「人・農地プラン」は「地域計画」に変わります...3
- (保存版)農作業標準料金表.....4
- (保存版)賃借料情報、総会年間予定.....5
- 委員の活動報告.....6
- 農業委員・推進委員の素顔.....7
- (連載)産直情報.....7
- (連載)農業者紹介、レシピ.....8

### チェック!!

「人・農地プラン」は「地域計画」に変わります。  
～担い手のこと、農地のこと、これからも地域の皆さんで話し合しましょう～

(大田原市ホームページ↓)



今年の秋ごろから、地域の話し合いを順次開催予定です。

★3ページに詳しく紹介しています★



## 令和5年度 農地等利用最適化推進施策の意見書 に対する回答 (抜粋要約)

令和4年10月31日に市長及び市議会議長に提出した「令和5年度農地等利用最適化推進施策の意見書」に対して、同年12月14日に市長から回答がありました。

### 1 担い手への農地利用 の集積・集約について

【回答】  
(1) 地域計画策定に向けた農業者  
の話し合い参加への支援

令和3年度までに市内41地区の農地プランの実質化が完了しており、今後地域計画の策定を進めるにあたり、関係機関との連携体制を構築して話し合いを進めるとともに、地域農業者に向けては、市のホームページや広報、チラシの配布等を通じて、話し合いへの参加を呼びかけてまいります。

【回答】  
(2) 農地面積に応じた担い手への  
支援強化

現在も認定農業者や集落営農組織、法人等に対しては、様々な国の補助事業について情報提供・要望調査を行い、規模拡大等の計画に合わせて支援を行っています。今後も、国や県と連携しながら、支援の強化に努めてまいります。

### 2 新規就農者の確保策 について

【回答】

新規就農者の確保・支援につきましては、県が主体となり那須農業振興事務所管内の農政課や農業委員会事務局並びに農業公社や農協等で構成する「那須地域就農支援ネットワーク会議」において、意見交換を行いながら就農支援に取り組んでおります。また県では、新たに、とちぎ就農支援サイト「Tochino (トチノ)」を立ち上げ、農業を始めるためのポイントや様々な情報を発信しております。全国新規就農相談センターにおいても、就農情報を集めたポータルサイト「農業をはじめの.jp」から就農支援の情報を発信しております。今後も、これらのサイトを活用し、国や県と連携しながら本市の新規就農者の確保に向けて更なる情報発信に努めてまいります。

### 3 農業施策について

【回答】  
(1) コスト高騰の中での農業経営  
支援策の継続・拡充

本市では、今般の世界情勢等による物価高騰を踏まえ、認定農業者などへの支援補助事業を実施しているところではありますが、今後も国や県と連携して継続的な支援が望めるよう、情報収集を図りながら検討してまいります。

【回答】  
(2) 自然災害リスクに備える収入  
保険への加入助成制度創設

農業経営に支障をきたす様々なリスクに対応するためには、農業経営収入保険事業の加入拡大は喫緊の課題となっております。市内の農業者へのPR及び加入しやすくなるような支援策等につきまして、近隣市町等の事例の調査・研究を進めてまいります。

【回答】  
(3) 生産性の向上や業務の省力化  
に効果的なスマート農業機器  
について調査及び導入検討

現在本市独自の取組みは実施しておりませんが、関連情報の収集に努め、農機の導入の国庫補助事業などをPRしているところであります。今後も県や関係機関と連携を図りながらスマート農業の推進に努めてまいります。

【回答】  
(4) 県内トップクラスの水田面積

を活用できるように、米粉製造工場の誘致、米粉のパン・麺類の開発など米粉を活用する取組みの推進

【回答】

本市では県内有数の米産地であるなか、今般の全国的な人口減少や食生活の多様化による米消費減少や新型コロナウイルス感染症の影響による外食需要の減少に伴い、主食用米から飼料用米などへの作付転換を次年度も推奨しております。米粉につきましても米粉用米として水田活用の交付金の品目に掲げておりますが、地域性の取組とした耕畜連携など、産地の需要に見合った生産調整が必要となります。今後は需要と供給のバランスを見定めつつ、全国的な米の消費拡大に繋がる広域的な施策を注視しつつ、県やJAなどと連携し取組みについて、調査・研究してまいります。



《10月31日 市長室にて》

令和5年4月から  
**「人・農地プラン」は「地域計画」に変わります**  
担い手のこと、農地のこと、  
これからも地域の皆さんで話し合しましょう

## 「人・農地プラン」&「地域計画」って何？

地域農業の10年後の将来計画です。

少ない担い手で農地を耕作し続けていくためには、農地をたくさん、近くに集める「農地の集積・集約化」を行い、効率的に作業できるように整えることが重要です。

これまで、「地域の担い手にどう農地を集めていくか」等を地域の皆さんで話し合っていたが、「人・農地プラン」にまとめました。

国の法律改正により、「人・農地プラン」を「地域計画」に名称を変更し、これまでの内容に加えて、将来も農地として利用していく区域や、「**目標地図**」を定めるようにパワーアップします。

## 「目標地図」って何？

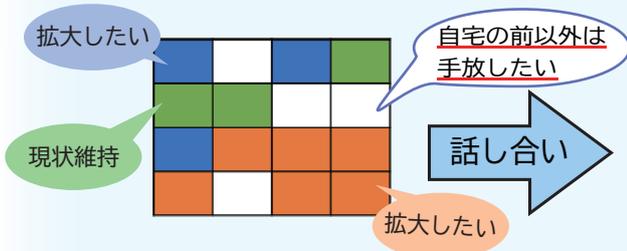
農地ひと筆ずつの、10年後の耕作者を定めた地図です。

将来の地域農業の担い手に集積・集約化されていくように、農地の区域分けを行います。

作成後は、新しくなる農地バンク事業を活用し、目標地図通りになるように農地の貸し借りを進めていきます。

意向調査を活用し現況地図を作成

目標地図を作成



## どうして大事なの？

①農地を集積・集約化するため、地域の皆さんの理解を得る必要があります。

地域の中には、沢山の耕作者・所有者がいます。皆さんで集まって計画を立てることが大切です。

②地域農業の将来を定め、皆さんで共有することができます。

「高収益作物」、「圃場整備」、「有機栽培」等、地域農業の将来のために、新しいことに取り組むこともあるでしょう。皆さんで地域農業の将来を共有し、一緒に取り組む・応援していくことが必要です。

③国の補助事業等の要件になります。

地域計画を定めること、その中で農地の担い手として位置付けられていることなどが、国の補助事業等の要件になる予定です。

地域の話し合いは、今年(令和5年)の秋ごろから順次開始します。  
会場・日時は、後日市ホームページや広報でお知らせします。  
皆様のご参加をお待ちしております。

## 令和5年度 農作業標準料金表 (税抜額・税込額) 保存版

大田原市農業委員会

作 業 名	単 位	金 額 (円)			備 考	
		税抜額	消費税額	税込額		
稲	耕 起	10 a	3,409	341	3,750	・ロータリー耕による。・プラウ耕 4,320円(込)
	荒 代	10 a	2,937	293	3,230	
	植 代	10 a	3,928	392	4,320	
	肥 料 散 布	10 a	1,164	116	1,280	・圃場までの運搬搬入は含まず、肥料積み込み料を含む。 ・1回散布10a当り300kg以内。
	育 苗	1 箱	619	61	680	
	苗 運 搬	1 箱	73	7	80	・空箱回収を含む。
	田 植	10 a	5,346	534	5,880	・補植、補助作業は含まない。・側条施肥は、1,060円(込)割増。 ・除草剤同時散布は、540円(込)割増。(農薬代は含まず)
	防 除	10 a	1,437	143	1,580	・ブームスプレーヤー等での作業も同額。 ・農薬代は含まず。・麦作・大豆も同額。
	コンバイン刈取	10 a	14,546	1,454	16,000	・結束は3,170円(込)割増。 ・倒伏等圃場条件により10%から30%加算とする。
	作	籾 運 搬	10 a	964	96	1,060
籾 乾 燥 ・ 調 製		30 kg	582	58	640	・乾燥のみ320円(込)。・調製のみ320円(込)。
畦 畔 塗 り		1 m	55	5	60	
箱 処 理 剤 散 布		1 箱	19	1	20	・農薬代は含まず。
色 彩 選 別 機		30 kg	300	30	330	
戸 揚 げ 玄 米		30 kg	109	11	120	
麦	耕 起	10 a	3,409	341	3,750	・ロータリー耕による。
	施 肥 ・ 播 種	10 a	3,409	341	3,750	・ドリルシーダーによる。
	麦 ふ み	10 a	964	96	1,060	・トラクター・オペレーターを含む。(機械踏み)
	コンバイン刈取	10 a	14,546	1,454	16,000	・結束は3,170円(込)割増。 ・倒伏等圃場条件により10%から30%加算とする。
	運 搬	10 a	964	96	1,060	・圃場から乾燥施設まで。
大 豆	播 種	10 a	3,409	341	3,750	
	中 耕 ・ 培 土	10 a	3,409	341	3,750	
	選 別 機	30 kg	82	8	90	・作業機のみとする。
	運 搬	10 a	964	96	1,060	・圃場から自宅まで。
そ ば	播 種	10 a	3,409	341	3,750	
	コンバイン刈取	10 a	8,755	875	9,630	
	運 搬	10 a	964	96	1,060	・圃場から自宅まで。
	乾 燥 ・ 調 製	22.5kg	600	60	660	
	石 抜 き	22.5kg	228	22	250	
飼 料 作 物	ハ イ ベ ー ラ	1 梱包	255	25	280	・45cm×40cm×80cm基準 ・運搬は別料金。
	ロ ー ル ベ ー ラ	1 梱包	1,428	142	1,570	・1.2m標準 ・運搬は別料金。ロールラッピングは別料金。
	牧 草 刈 り	10 a	1,909	191	2,100	・ディスクモアによる。
	反 転 作 業	10 a	19,055	1,905	20,960	・コーンハーベスターによる。
	反 転 作 業	10 a	719	71	790	・稲わら ・牧草
畦 畔 草 刈	10 m <sup>2</sup>	264	26	290	・刈払機 ・畦畔の状況により要相談。	
レ ー ザ ー レ ベ ラ ー	10 a	15,000	1,500	16,500	・作業内容により要相談 ・運搬は別料金。	
一 般 農 作 業	1人1日	7,000	700	7,700	・8時間を基準とする。	

● 標準料金ですので、圃場条件や作業の難易度等著しく異なる場合は、相互協議の上決定してください。

令和5年1月策定

保存版

## 大田原市農地賃借料情報

令和4(2022)年1月から令和4(2022)年12月までに締結(公告)された賃貸借における賃借料水準(10aあたり)は、以下のとおりとなっております。

令和5(2023)年2月1日 大田原市農業委員会

(単位:円/10a)

地区	田				畑			
	筆数	平均	最高	最低	筆数	平均	最高	最低
大田原	92	11,400	18,000	5,000	1	10,500	10,500	10,500
金田北	264	13,000	20,000	2,500	23	9,600	18,500	1,000
金田南	258	13,800	25,000	1,900	7	7,800	13,500	4,000
親園	300	12,800	23,000	2,800	6	10,400	15,000	5,000
野崎	313	12,900	18,000	2,900	1	5,000	5,000	5,000
佐久山	198	11,100	20,000	3,300	2	7,500	10,000	5,000
湯津上	696	13,600	23,000	5,000	14	8,600	18,000	1,500
黒羽	71	10,900	15,000	6,300	0	0	0	0
川西	118	12,700	24,300	2,500	15	16,300	22,600	2,500
両郷	31	11,400	15,000	8,100	1	3,900	3,900	3,900
須賀川	10	9,500	13,400	4,800	0	0	0	0
全体	2,351	12,900	25,000	1,900	70	10,500	22,600	1,000

※ 平均金額は、算出結果を四捨五入し100円単位としています。

※ 農地の賃借についてのご相談は、大田原市農業公社(Tel.23-4834)又は、大田原市農業委員会事務局(Tel.23-8716)で受け付けています。

## 令和5年度 総会開催日と申請受付締切日

開催月	開催日	受付締切日	開催月	開催日	受付締切日
令和5年4月	20日(木)	3月31日(金)	令和5年10月	23日(月)	9月29日(金)
令和5年5月	23日(火)	4月28日(金)	令和5年11月	20日(月)	10月31日(火)
令和5年6月	20日(火)	5月31日(水)	令和5年12月	20日(水)	11月30日(木)
令和5年7月	19日(水)	6月30日(金)	令和6年1月	22日(月)	12月27日(水)
令和5年8月	21日(月)	7月31日(月)	令和6年2月	20日(火)	1月31日(水)
令和5年9月	20日(水)	8月31日(木)	令和6年3月	22日(金)	2月29日(木)

● 農地法に基づく許可申請等は、農業委員会総会において審議を行い、許可の可否を決定します。

● 申請の際は、総会開催月を確認の上、当該受付締切日までに農業委員会事務局へ持参してください。

※ 申請書等の提出や相談では、担当職員が調査等で不在の場合もありますので、事前に連絡をいただくと手続きがスムーズになります。

(電話 0287-23-8716 農地調整係)

読み応えあります

## 全国農業新聞

- 農業経営に役立つ情報満載
- 暮らしに役立つ話題満載
- 「週刊」の特性を生かした解説記事
- 月1回は充実した栃木県版記事
- 毎週金曜日に届きます。

気になる方は  
無料の見本誌を  
申込み

購読料は  
月額700円(税込み)

購読のお申し込みは、農業委員会事務局(23-8716)まで

## こんなときは

- 農地を売るとき・買うとき
- 相続等により農地の権利を取得したとき
- 農地以外(住宅・小屋を建てる)に利用したい
- 農地を改良したい
- 貸したい・借りたい・合意解約したい

農業委員会事務局までご連絡ください。

☎23-8716

委員活動  
報告

11/9 関東ブロック女性農業委員等  
研修会にて事例発表しました



関東地区の女性農業委員の研修会が宇都宮市のホテル東日本宇都宮を会場に開催され、県内外より300名ほどが参加。チームあゆみは、市のイメージキャラクターと一緒にあゆみさんとともに、JAなすの様よりご提供された市の特産物を飾り付けた舞台上で事例発表を行いました(写真)。他市町の女性農業委員の皆さまに少しでもお役に立てればとの思いから、チームあゆみ結成理由や農機具講習会、農業女子のつどいの内容をお話させていただきました。

私たちの活動は小さな活動ではありますが、その積み重ねから、少しずつ認知され、県の代表として選ばれたことに感謝しています。女性農業委員としての自覚をもって、女性農業者をこれからも応援していこうを改めて誓いました。(文：相馬和恵)

11/7 市貝町の西宿営農  
組合を視察してきました

大田原市農業委員会農地班は、集落営農についての見識を深めるために、県内で初めて平成5年に営農組合を設立した、市貝町にある農事組合法人西宿営農組合を研究視察しました。

設立当初は集落ぐるみ型の組合でしたが代表の体調不良や組合員の高齢化により、オペレーター型に転換し、今では農地を大規模に借り受け、経営面積は100畝に及びます。主な作物は、水稻、二条大麦、そば、春菊及びりんご。今後も規模拡大していく予定とのことです。

現在、組合員は9人で、うち4人が30代と若い組織です。代表の本橋譲氏も40代で、農業に情熱をもっており、非常に刺激を受けました。

集落営農による農業の活性化は、地域の活力にもなっていくものと確信しました。地域農業のモデル的な取り組みとして、参考としていきたいと思えます。(文：鈴木賢一)



本橋譲代表(左から2番目)の話をお聴く農地班メンバー

12/10 ココマルシェ会×東洋大学蜂巢ゼミ  
「ハチのクリスマス会」に参加して



大田原市蜂巢の hikari no cafe 蜂巢小珈琲店で、大田原市の農業女子を中心に構成する「ココマルシェ会」と東洋大学経営学部蜂巢ゼミ生とのコラボ企画に参加しました。

農業者がこだわりを持って生産した農産物の販売や、学生による射的や輪投げ、スタンプラリーなどのイベントは、多くの家族連れで賑わいをみせていました。

チームあゆみは「お米の量りゲーム」を企画。参加賞には農業委員から提供いただいたコシヒカリをプレゼント！ご家族皆さんでチャレンジし、盛り上がりを見せていました(写真)。明るく生き生き活動している農業委員会及び「チームあゆみ」を広くPRできたと感じています。

(文：相馬和恵)

12/8 とちぎ女性農業委員の会  
総会・研修会に参加して

県内の女性農業委員が集結し、毎年恒例の総会・研修会が開催されました。総会は、大田原市の屋代幸子委員が議長を務めました(写真)。

研修会では、梅の里おごせ山口農園の山口由美代表の講演「農業の新たな可能性～私らしい、梅しごと」をお聴きしました。梅仕事を始めたきっかけは家庭の諸事情があったようですが、女性ならではの気持ちの切り替えに感嘆。「人との出会いを大切に、仲間を信じ、元気に笑顔でがんばってみる。一歩踏み出してみる。」とのお話は心に響きました。

私たちも、出会いと仲間を大切に、今後も新たなチャレンジに踏み出していきます。(文：相馬和恵)



総会の様子

## 農地利用の最適化推進に取り組む



今年は  
旅行を  
満喫するぞ!

会長 荒井 一夫 (富池)

「人・農地プラン」から「地域計画」への移行にあたり、意向調査や地域の話し合いが実施されます。皆様のご協力をお願いします。また、農業委員・推進委員は改選の時期を迎え、女性委員の登用にも取り組んでいきます。



ほうれん草  
収穫中です。

農業委員 郡司 裕一 (佐良土)

燃料高騰・肥料・諸材料費の値上げ、農業者の高齢化、後継者不足など、大変な時期になっています。

このような状況だからこそ地域の方々と協力しながら、大切な農地を守っていきたいと思います。

第4弾

## 農業委員・推進委員の素顔

ただ今、  
そば打ち  
特訓中です



推進委員 伊藤 健次 (福原)

耕されている農地を、耕せるうちに、耕せる人へつないでいくために、今、人・農地プランの実質化に取り組んで、3年目になります。これからも、地域の農地を守り、耕し続ける為に皆様のご協力をお願い致します。

家族5人で  
駅伝に参加!  
右端が私。



推進委員 岩城 善広 (親園)

8年前に神奈川県鎌倉市から妻の地元である大田原市に移住し就農しました。義両親の指導を受けながら、水稻14畝、二条大麦14畝、大豆11畝を生産しています。

推進委員として大田原市の農業に貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。

連載  
産直  
情報

### 大田原市水遊園直売所 (水遊マート)

- 住 所：大田原市佐良土 2686 ● 電話番号：0287-98-6003
- 休 館 日：毎週月曜日及び第4木曜日 (休館日が休日の場合はその翌日)  
※7/20～8/31は無休になります。
- 営業時間：9：30～16：30 (7/20～8/31は17：00まで)



「大田原市水遊園直売所(水遊マート)」は、栃木県なかがわ水遊園の敷地内に併設されている直売所です。地元産の新鮮野菜のほか、手作りのお菓子や地元食材を使用したジェラート、民芸品やなかがわ水遊園の芝生広場で遊べる玩具などを販売しています。

これからの季節は、春キャベツや新タマネギがおすすめです。

春休みや夏休みなどの期間中にはお子様向けのイベント等も開催していますので、なかがわ水遊園にお越しの際は、ぜひご家族でご来店ください。直売所のみ利用も大歓迎です。(文：農政課)

連載

# よろしくお祈いします 第9回 すごう なおき 菅生 尚樹さん(松木沢)

今回は大田原市松木沢にお住いの「菅生尚樹」さん(29歳)をご紹介します。

「父の農業する姿に魅力を感じ、自分も農業をやりたいと思っていました!」と語る尚樹さん。高校、短大で農業を学び、8年前に親元で就農されました。

現在、家族経営で、イチゴを40畝、水稻4畝と野菜10畝を生産し、主にJAに出荷されています。イチゴは昨年から、病気に強く、形がふっくらしていてパック詰めしやすい「とちあいか」に品種を変更し、収量増を目指しています。

栽培のこだわりは、苗と設備の管理を日々しっかりとやっけていくことです。

苗には満遍なく日が当たるように、枯れた葉や余分な葉を摘む作業を小苗の段階から手を抜かずにされています。また、ハウス内では受粉のためにミツバチを飼っており、ミツバチが活動しやすい温度にハウスの窓の開け閉めを父賢治さんと交代で担当しています。「ミツバチが活動する10月下旬~5月下旬は、温度管理が毎日の作業なので大変ですが、やりがいがありますので、がんばります!」と尚樹さん。

一昨年ご結婚され、ご長男も誕生し、家族が増えました。今後は、奥様も経営に参加していく予定とのことで、非常に楽しみです。地域の中心的担い手として、地域農業のみならず地域活動も引っ張ってってもらいたい。期待しています。

(聞き手：鈴木賢一)



採れたての「とちあいか」  
酸味が少なく、糖度が高い

## これから就農する方へのメッセージ

農業は自分の時間や作業方法等を決められ、自由が利く職業です。また、JAの部会や4Hクラブに加入することで、農業仲間とのつながりもできます。4Hクラブと一緒に活動しませんか?  
※4Hクラブとは?…若手農業者の集まりで、主に食育・植栽事業を行っています。興味のある方は市農政課まで(23-8708)

## 農業者年金で豊かな未来を

こしい かつみ  
越井 勝美さん(49)(宇田川)

知人から勧められ、節税をしながら、将来の自分のために積み立てできる農業者年金に昨年加入しました。支払った保険料全額が社会保険料控除の対象となることは、非常に魅力です!この年齢からでも加入できます!

酪農されているお仲間の皆さんも農業者年金に加入しています!



左から  
石渡寛之さん(45)、越井さん、  
藤田義弘さん(46)、

加入のご相談は農業委員会事務局またはJA窓口まで

## 編集後記

農業委員会だより第92号の編集も無事に終わりました。コロナ確認から3年が経過し、私たち農業委員もまもなく3年になろうとしています。コロナ禍でマスクをしての顔合わせ、会議出席、行動制限での行事開催となりました。早くコロナが終息し、以前の委員会活動に戻りたいと切に思います。

(副編集委員長：阿見芳)

【農業委員会だより編集委員会】(農政班) 助川悦夫・阿見芳・笹沼保治・屋代幸子・秋本則夫・相馬和恵・高瀬隆至・越沼良

地産地消レシピ  
紹介♪

## アスパラのふわふわスフレ

市特産のアスパラガスと米粉で作ってみたいかがですか。米粉はくせがなく、アスパラガスとの相性が抜群!



材料  
(ココット10cm 2個分)  
アスパラガス…100g(4本)  
牛乳……………80g  
米粉……………25g  
卵(L)……………2個  
(卵白、卵黄に分ける)  
とろけるチーズ ……25g  
バター……………20g  
塩……………2g  
トッピングで  
粉チーズ  
アスパラガスの穂先



## 作り方

- 1 アスパラガスを茹でて、ミキサーでペースト状にする。(穂先はトッピングにとっておく)
- 2 鍋に牛乳、米粉、卵黄、アスパラガス(ペースト)、とろけるチーズ、バターを入れ混ぜる。
- 3 2の鍋を中火で加熱し、とろみがついたら火を止め、冷ます。
- 4 卵白に塩を加えて泡立て、メレンゲを作る。
- 5 3に4のメレンゲを数回に分けて加え、ゴムベラでさっくりと混ぜ、ココットに流し入れる。
- 6 170°に予熱したオーブンで、15~20分間焼く。
- 7 粉チーズをふり、アスパラガスの穂先を飾りつけ、熱いうちに召し上がれ♪

(文：屋代幸子)